

## 盛岡都市圏における将来ネットワーク

基本理念及び基本方針に基づき、次のとおり将来ネットワークの考え方を設定します。

- 盛岡都市圏内外を連絡する広域のネットワーク(広域基幹系統)については、鉄道の定時性や速達性の高さと路線バスの広域や面的ネットワークサービスという特徴を踏まえ、関連計画である岩手県計画の考え方を踏襲し、本計画の将来ネットワークにも位置付けます。
- 盛岡都市圏内における路線バスについては、各市町の主要結節点や各拠点との接続性とまちづくりとの連携の観点から、都市圏基幹系統、都市圏準基幹系統、既存路線バスエリアに区分して位置付けます。
- 都市圏基幹系統は、盛岡都市圏の骨格であり、路線バスが高頻度に運行されていることから、引き続き現状のサービスレベルの確保に努めるとともに、利便性や機能性を向上させることで、盛岡都市圏路線バスの軸として重点的に利用者の確保を推進する区間とします。
- 都市圏準基幹系統は、盛岡都市圏に広がる市街地の移動手段を確保するため、都市圏基幹系統を補完し路線バスの軸として路線運行を確保する区間とします。
- 既存路線バスエリアは、現在のバス路線を維持するために、様々な利用促進策を実施しながら既存路線バスを主体としたネットワークを形成するエリアとします。  
なお、ネットワークの形成においては、利用実態等を踏まえた様々な交通モードを対象とします。
- 都市圏基幹系統、都市圏準基幹系統及び既存路線バスエリアにおける路線バスのネットワークは、現在のバス路線の維持及び確保に向けて、交通事業者、行政、住民が一体となって利用促進策や利便性向上の取り組みを行います。
- 地域内交通実施エリア(フィーダー系統)及び地域内交通検討エリア(フィーダー系統)は、人口密度が低い地域であり、鉄道・バス不便地域<sup>※</sup>であるため、既存の路線バスと連携を図りながら、デマンド交通や福祉・教育目的の輸送等、地域の特性に合った様々な交通モードにより、地域内で完結する移動のために行政や地域住民が主体となった移動手段を確保します。
- 見直し想定エリア(盛岡市南西部～矢巾町北部)は、バス路線の見直しを図りながら、地域内交通との役割分担により、移動手段を確保します。見直し想定エリア(矢巾町北部～盛岡市南部)は、矢巾町デマンド交通の現在の運行範囲を拡大し、移動手段を確保します。
- タクシーについては、利用者の特性やニーズに応じて、エリアや時間帯に捉われない柔軟な移動、鉄道や路線バスでは対応が難しい移動を担います。また、地域内交通実施エリア(フィーダー系統)及び地域内交通検討エリア(フィーダー系統)における鉄道や路線バスと連携したネットワークを形成します。

※本計画では、公共交通沿線地域(鉄道駅 800m、バス停 300m 圏)の外側を鉄道・バス不便地域として定義しています。

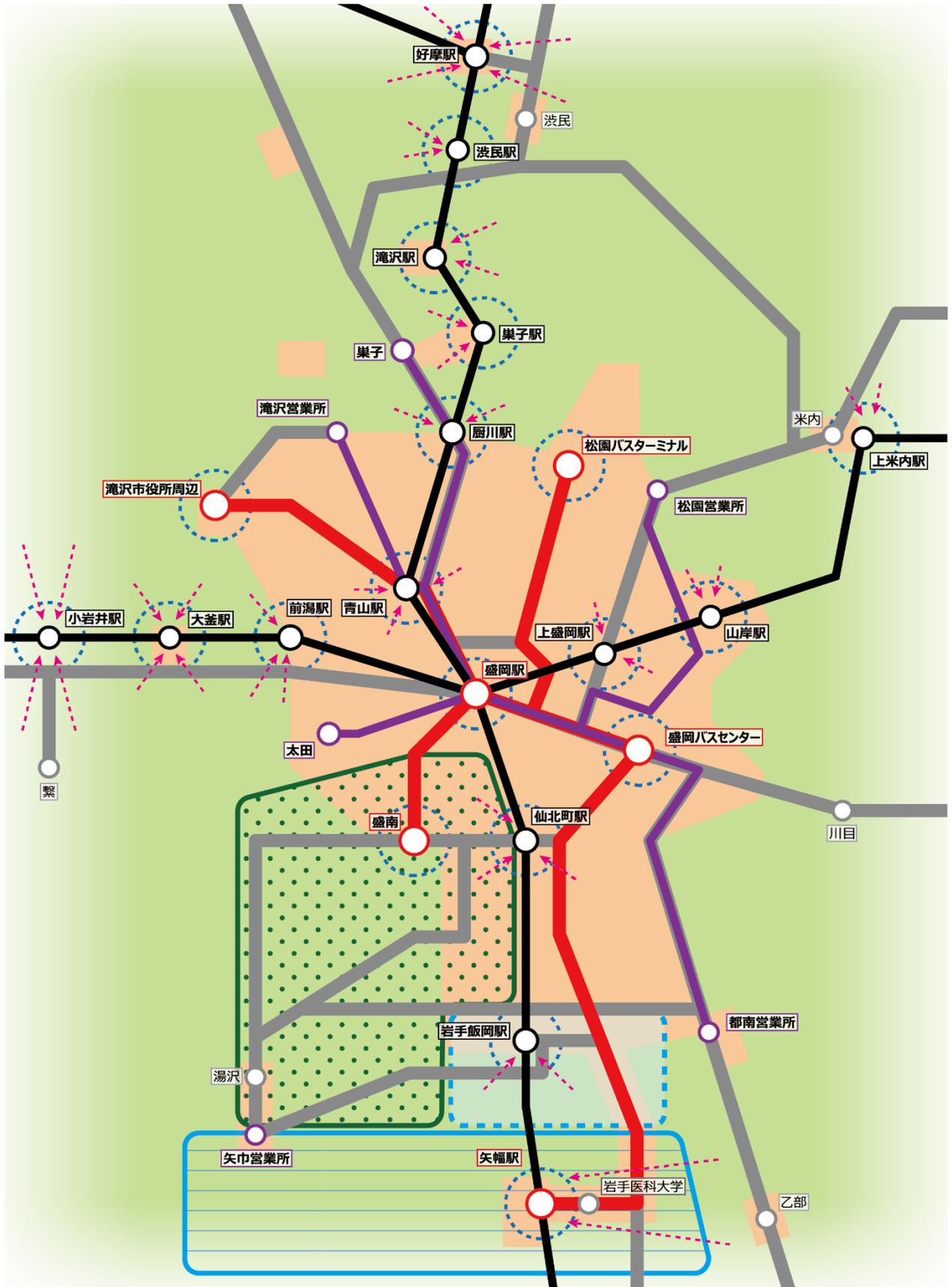


図 盛岡都市圏における将来ネットワーク

表 将来ネットワークにおける位置付け

ネットワーク・エリアの位置付け		想定される路線
 広域基幹系統 (鉄道)	盛岡都市圏内外を連結する 鉄道・バス路線	JR東日本 東北本線、田沢湖線、山田線、花輪線、IGRいわて銀河鉄道線
 広域基幹系統 (路線バス)		八幡平線、沼宮内線、106急行・特急線 等 つなぎ温泉線、長岡線 等、平庭高原線 等
 都市圏基幹系統	盛岡都市圏の骨格となり、 主要結節点を結ぶバス路線	【盛岡バスセンター～盛岡駅前間】、 【盛岡駅前～滝沢市役所周辺間】、 【盛岡中心部～松園バスターミナル間】、 【盛岡駅前～盛南間】、 【盛岡バスセンター～矢幅駅前間】 の5区間を運行する各線
 都市圏準基幹系統	基幹系統を補完し、 盛岡都市圏中心部と 主要バス停留所間を結ぶ バス路線	【盛岡バスセンター～盛岡駅前～滝沢営業所間】、 【盛岡駅前～盛岡バスセンター～松園営業所間】、 【盛岡駅前～盛岡バスセンター～都南営業所間】、 【盛岡バスセンター～盛岡駅前～太田間】、 【盛岡バスセンター～盛岡駅前～巢子間】 の5区間を運行する各線
 既存路線バスエリア	既存路線バスを主体とした ネットワークを形成するエリア	厨川線、盛南上田箱清水線 等 南青山町線、みたけ中央線、浅岸線、中央線、 イオンモール盛岡線、ゆいとびあ東線 等
 地域内交通実施エリア (フィーダー系統)	鉄道・バス不便地域における 地域内で完結する移動を 実施・検討するエリア	矢巾町：やはばす・デマンド交通「のりあい号」
 地域内交通検討エリア (フィーダー系統)		盛岡市：患者輸送バス 等 滝沢市：福祉バス、患者輸送バス 等 タクシーの効果的な活用、地域の輸送資源の活用 等
 見直し想定エリア (盛岡市南西部～矢巾町北部)	路線バスネットワークの 見直しを想定するエリア	(見直し想定路線) 羽場線、本宮線、飯岡線 等
 見直し想定エリア (矢巾町北部～盛岡市南部)		(見直し想定路線) 川久保線、南インター経由川久保線 等

表 交通結節点・拠点設定の考え方

区分	交通結節点設定の考え方
 主要結節点	盛岡都市圏・各市町の中心拠点として拠点性が高く、 <u>都市圏基幹系統が接続するとともに、特に地域内交通との接続等を考慮する結節点</u>
 鉄道駅	パークアンドライドやサイクルアンドライド等の推進により、 <u>利用圏の拡大や利用者の増加を目指す鉄道駅</u>
 主要バス停留所	既存路線バスエリアの縁辺部や郊外に位置し、 <u>路線バスの運行の拠点となる営業所や都市圏準基幹系統が接続する主要なバス停留所</u>
 地域拠点	盛岡市中心部と市街地が連担していないものの、 <u>郊外型団地や集落、主要施設等の、一定の移動需要が見込める拠点</u>
 主要結節点・鉄道駅 利用圏	主要結節点や鉄道駅から半径800mの範囲については、 <u>拠点性の高さを活かして、公共交通利用者の確保に努める</u>
 鉄道駅利用圏の 拡大イメージ	パークアンドライドやサイクルアンドライド等の推進により、 <u>鉄道駅の利用圏を拡大する</u>